

「課題名：広島大学病院高度救命救急センター/集中治療室で診療した COVID-19 症例の疫学」
について

○ 研究の意義・目的

コロナウイルス病 2019(COVID-19)は、致死率が高い大変重要な疾患ですが、我が国における治療状況や予後に関する知見は、極めて不足しているという現状があります。

当施設では県内の最重症の COVID-19 診療にあたっています。一方、高度救命救急センター/ICU では診療した全ての患者さんの主要な診療データを日本集中治療医学会による重症患者データベース (JIPAD) に登録しています。これを利用して COVID-19 の疫学と診療内容を解析することが可能であることから、今回この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2020年3月1日から2022年2月28日までに、当院に入院し、COVID-19と診断されたすべての患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、対象患者さんの JIPAD データを転記して行います。

転記する内容は、年齢、性別、入院日数、検査内容（組織検査、画像検査など）、治療内容（薬剤、人工呼吸など）、死亡の有無、などです。一部、診療録を確認して追加のデータ収集を行います。

なお、個人が特定出来る情報は転記することなく、データはまとめて解析し集団として公表するため、個人データが明らかになることはありません。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院救急集中治療医学 教授 志馬伸朗

○ 研究期間 2021年3月12日（委員会承認後）～ 2022年9月30日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

本研究で解析のために収集された匿名化データは、二次研究に利用する可能性があるため、適切に保管させていただきます。将来、研究に用いる場合は改めて広島大学倫理審査委員会において承認を受けた後に使用します。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5456

広島大学大学院救急集中治療医学 教授 志馬伸朗（研究責任者）

准教授 大下慎一郎（研究分担者）